

令和元年度

# 第1回議会モニター会議 報告書

令和元年6月22日(土)10時～12時／久慈市役所 特別会議室

参加者:15人(議会モニター7人、議員(広聴広報会議)8人)

## 1 議会モニター委嘱状交付式

## 2 説明、見学

①議会のしくみ(概要説明)、②議場見学、③久慈市議会の議会改革

## 3 ワールドカフェ

①久慈市議会ってどうですか?、②モニター会議で取り組みたいこと

※講師:佐藤 淳 先生(青森中央学院大学准教授、早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員)



## ■久慈市議会ってどうですか？

- 議会のICT化が進んでいる。「ライン」や「フェイスブック」を活用した情報発信は重要だと思う。市民意見の取り入れも期待したい。
- 議会だよりの「市民との懇談企画」は、議会と市民の間のハードルが下がった感じで良い。
- 議会だよりを若い人に見てもらおう工夫を。表紙は入りやすくて良い。
- 議会と事務局が一体で進めている。
- 視察先の選び方など、約30年前と議会の雰囲気が違う。
- 議会改革度ランキングが1449議会中93位は素晴らしい。過去の議会と比べて良くなった。より「市民目線」に立っている。
- 議会改革度ランキングの内訳「市民参加」が400位はどうなのか。政策提言に2年間費やしたので、今度は市民との意見交換の機会を持つことにシフトした方がいい。
- 議員の一般質問に対する当局側の「検討します」がよく分からない。質問に対する結果までのフォローやフィードバックがない。
- 予算や決算の審査で、あまり質問がないように感じる。
- 当局側に「予算が…」と言われると、議員の質問が落ちてしまう。当局側の回答「検討します」もよく分からないので、「いつまでに」という回答があればいい。
- 類似した質問があるが、議員は何をベースに活動し、質問しているのか。
- 一般質問の冒頭に、過去の質問が実現したものを紹介しては。
- 市民をどのように巻き込むかを考えなければならない。今回のモニター会議を休日開催にしたのは良かった。参加しやすくなるのではないか。
- モニター意見の優先順位を、共通の理解にするのは難しい。
- 「議会報告会」から「かだって会議」などの「意見交換会」へ。もっと市民の声を聴く機会をつくってほしい。かだって会議をもっとやってほしい。

久慈市議会ってどうですか？

## ■ モニター会議で取り組みたいこと(個人意見①)

- 議員さんと一緒に政策を考えてみたい(議員とモニターが一緒になって何かを形にしてみたい)。
- モニター会議になるべく毎回参加する。
- モニターに求められていること、使命が何なのかをしっかり知りたい。個人的な目的を持って参加しているが、議員さんの考えを知りたい。そうすれば、もっと責任を持って取り組める。
- 久慈市の課題のプロだと思うが、久慈市はもちろん、他の市や町の課題も学びたい。お互いに視野を広げる場にしたい(なったらいいな)。「良い時間でした！」
- 懇談会を定期的で開催し、児童・生徒たちへの環境の場を与えることによって、人生の美しさが得られるのではないかと。
- 今の久慈を変えるため、若者の意見・Uターン者の声・これからの久慈市を背負って立つ世代の声を広く聴き、何をすべきかを共に議論したいです。
- 議員と政策提言に取り組みたいと思います。
- 久慈市の未来像の模索。身近の課題は個々で違う。将来の久慈市を想像し、政策提言に貢献できればいいと思う。
- 政策提言について、モニターと情報共有して内容の掘り下げができる場があればいい。
- まちの課題を学び、お互いに視野を広げる場にしたい。
- 地域や仕事、生活環境の意見を出せる場を増やしていけるのがモニター。出た意見を精査するのが議会であり、議員の皆さんだと思います。
- モニターをもっと増やした方がイイね。

## ■モニター会議で取り組みたいこと(個人意見②)

- 中高生から見たあるべき久慈市、戻りたい郷土を探る手立て。30年以上先の子どもたちが喜ぶ政策提言。モニターの皆さんとまとめたい。
- モニターさんと若い世代の人たちを交えた意見(声)を聴く場をつくる。若者の声を久慈市の政策提言に生かせればいい。(Uターンした子どもたちのスキルを大切に)
- モニターの皆さんと学生、分野別社会人と「かだって会議」をやりたい。
- モニターと共に健康寿命を長くし、病院にかかる費用、時間を節約することにより、健康都市を目指す。
- 会議、話し合い、かだって会議をしながら、政策提言に結び付けていくことを望みます。
- モニターが議会の活動を理解し、友人等に話をさせていただいて、モニターのなり手を広げていくこと。
- 議員とモニターが久慈市の5年、10年後をテーマに話を進めていくことも重要。
- 中高生と一緒に学習する。久慈のいいところ、産業、こんな久慈市をつくりたいというところまで夢を語り合う。
- 例えば、「健康寿命を延ばすには」のようにテーマを設定し、50人・100人委員会を議員、モニターと一緒にやる。
- 市民と一体感を持ち、懸け橋となってほしい。(議員⇔モニター⇔市民)
- 議会と市民の垣根を取り払い、より「声が届く、声を発する」場をモニターとして持っていく(作る) → モニター主体で「出張議会」を開催し、市民の集う場で討議をし、参加型の議会を確立させたい。